

「あさひ・いのちの森」 育むプロジェクト

活動場所

- ・位置……………富士山周辺 富士川下流域
- ・フィールドタイプ……川・湿地・森・田んぼ・その他
- ・面積……………約1ヘクタール

活動の目的

「あさひ・いのちの森」は、富士市田子の浦の自然や里地・里山を再生し、地域の生き物たちとその生態系の保全を目指すエコトープとして、2007年に旭化成富士支社の敷地内に造成しました。「あさひ・いのちの森」自体を育てる事のもとより、「あさひ・いのちの森」で地域の「いきもの」を育てる、「あさひ・いのちの森」を活用した環境教育、情緒教育で「人」を育てる、「あさひ・いのちの森」から得られた「知見」を事業の中で育てる取り組みを推進します。

活動の内容

- ・「あさひいのちの森」の生長の把握と管理のために、植栽についての定置柵植生調査、毎木調査、全域植生調査や昆虫相調査を実施しています。また、近隣の公園や住宅地、小学校の生態系調査を併せて行う事で、エコロジカルネットワーク構築のモニタリングを行っています。
- ・行政、ミュージアムの方々と連携し環境教育の一環として、子どもエコクラブの交流会等で観察会を実施しています。
- ・初夏には地域の方々に来場頂きホタルまつりを開催し、地域とのコミュニケーションを深めています。
- ・2017年に（公財）都市緑化機構の、社会・環境貢献緑地評価システム（SEGES）「そだてる緑」部門でStage2認定を取得しました。
- ・これらの取り組み内容は、環境・社会報告書、CSRレポート、ホームページ等で情報発信を行っています。

今後の展望

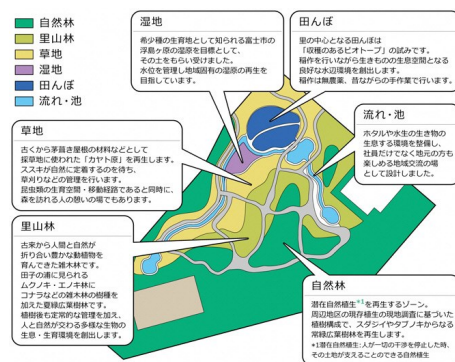
「あさひ・いのちの森」の湿地は富士市沿岸部にある貴重な湿地である浮島ヶ原の土壌を移植し再生しました。貴重な植物も根付いており、これらの希少種の積極的保全に取り組んでいきます。

一言コメント

「森の完成には100年を要する」という言葉があります。持続可能な取り組みとして企業が行う意義を認識し、企業の敷地内という管理された場所にあるという特徴を生かした取り組みを推進していくことで、旭化成グループ理念「世界の人びとの“いのち”と“くらし”に貢献」を実現していきます。



「あさひ・いのちの森」の全景



構内図



観察会の様子

実施体制

構成員：旭化成ホームズ㈱、旭化成設計㈱、旭化成㈱富士支社、富士市、静岡県、ふじのくに地球環境史ミュージアム、（公財）IGE S国際生態学センター、常葉大学、地域自治会・小学校
事務局：旭化成ホームズ㈱環境・渉外技術部 環境・ネット・エネルギー推進室
連絡先：〒160-8345東京都新宿区西新宿1-24-1エステック情報ビル10F
TEL 03-3344-7127
E-mail atago.hb@om.asahi-kasei.co.jp
http://www.asahi-kasei.co.jp/j-koho/environment_special001_2017.html/